

平成29年度 (一社)南魚沼市まちづくり推進機構社員総会出席者表

会員：

会員名	役職	氏名
(株)アクティ	取締役会長	井口 優
(有)門山電機店	代表取締役	門山 好和
(株)自遊人	代表取締役	岩佐 徹
(株)関電気	代表取締役	関 聡
八海醸造(株)	常務取締役	湯澤 一夫
(株)北越銀行	六日町支店支店長	塚野 裕之
南魚沼市	総務部部参事 (地方創生特命部長)	清水 明
(株)雪国まいたけ	代表取締役	足利 巖

(五十音順)

理事：

代表理事	河合 雅樹
理事	門山 好和
理事	関 聡
監事	星野 寛雄

(以上敬称略)

ご来賓：

南魚沼市 市長	林 茂男 (代理 岡村 聡 副市長) 様
---------	----------------------

**一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構
平成29年度 第一回社員総会**

平成29年7月11日(火)
ホテル 坂戸城

日時：平成29年7月11日（火）

総会：午後4時00分～午後5時

場所：ホテル坂戸城

1 開 会

2 代表理事挨拶

■ （一社）南魚沼市まちづくり推進機構

代表理事 河合 雅樹

3 来賓挨拶・来賓紹介

来賓挨拶

■ 南魚沼市 市長 林 茂男 様

4 議長選出

■ 代表理事 河合 雅樹

5 議 事

報告事項

（1）第1号議案 法人設立以降の経過の件

（2）第2号議案 平成29年度 事業計画の件

（3）スタッフ紹介

協議事項

（4）総会・理事会の日程について

6 閉 会

7 社員懇談会

午後5時～午後5時30分（会員の皆様おご自由な意見をお願い致します。）

8 懇親会

午後5時30分～午後7時30分

ホテル坂戸城

※配布資料

1. 議案1 第1号議案

2. 議案2 第2号議案

3. スタッフ紹介

4. 協議事項 H29年度の総会・理事会の日程について

5. 参考資料

第1号議案

法人設立以降の経過報告の件

法人設立以降の経過報告

■ 事務所開設

月	日	概要
4	3	事務所開設準備開始（各自自宅で業務）
	11	法人登記申請
	17	法人登記受理（市役所会議室にて業務）
	24	事務所へ入居
5	11	事務所電話開通
	15	複合機搬入・FAX開通 本格稼働開始
	23	光回線、インターネット開通

■ 挨拶まわり(平成29年5月5日～5月23日)

※代表理事がMMDOを紹介し、まちづくりについてのご意見を伺った。
併せて、5月24日MMDOキックオフセミナーの紹介と参加をお願いした。
また、訪問先には、南魚沼市総務部清水部参事、U&Iときめき課立川課長に
同行頂いた。

《行政機関》 南魚沼市市長 林 茂男氏
南魚沼市市議会議長 黒滝 松男氏
新潟県南魚沼地域振興局 地域振興局長 小幡武志氏

《経済団体等》 塩沢商工会 会長
南魚沼市観光協会 会長
六日町商工会 会長
NPO法人六日町観光協会 会長
大和商工会 会長
大和観光協会 会長
六日町ライオンズクラブ 会長
雪国魚沼ロータリークラブ 会長

《金融機関》 株式会社 北越銀行 六日町支店 支店長（会員）
第四銀行
大光銀行
塩沢信用組合

《まちづくり 石打地区まちづくり協議会
協議会》 五十沢地域づくり協議会
上田ふるさと協議会
浦佐地域づくり協議会
大崎地区地域づくり協議会
大巻地区地域づくり協議会
塩沢地区まちづくり協議会
城内地区地域づくり協議会
東地区地域づくり協議会
中之島地区まちづくり協議会
六日町地区地域づくり協議会
藪神地区地域づくり協議会

《五十音順》

《教育機関》 国際大学
北里大学保健衛生専門学校

《医療機関》 新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
南魚沼市立ゆきぐに大和病院

《会員》 株式会社 アクティ
八海醸造株式会社
株式会社 北越銀行 六日町支店
株式会社雪国まいたけ

《順不同》

■MMDOキックオフセミナー

月	日	概要
5	8	挨拶状・セミナー開催チラシ送付
	15	報道関係へのプレスリリース（添付資料①参照）（P7,8）
	21	新潟日報への折り込み広告浦佐地区900枚、大崎地区760枚（計1660枚）
	24	MMDOキックオフセミナー（会場：コミュニティーホールさわらび） 『新しい交流・観光ビジネス・仕事を考える』 ●セミナー概要 主催：（一社）南魚沼市まちづくり推進機構（MMDO） 共催： 南魚沼市 講師： 寺田吉道 新潟県副知事 パネラー： 岩佐十良（株）自遊人代表取締役 佐東範一 NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）代表 河合雅樹（一社）南魚沼市まちづくり推進機構 代表理事 セミナー参加者：180名 主な内訳：男性 146名 女性 34名 主な所属： 地元企業（44名）、観光業界（20名）、個人参加（17名） 市役所（28名）、市議会（12名）他 ●懇親会 於：越後ワイナリー葡萄の花 会費：5000円 参加者：73名

■ 河合代表理事講演活動

月	日	概要
4	21	南魚沼クラブリーダー会議（於：東京都）
5	16	大和法人会講演（於：南魚沼市大崎）
	30	公務員研修（於：南魚沼市市役所）

補足説明：7/14東京ビッグサイトで行われる、国際ホスピタルショーにおいて
また、8/30秋田県で講演を行う予定です。又、須藤PMが6/14天王町、6/21上田地区
にて講演を行わせて頂いております。

■ MMDO事務所来訪者

※多くの方に気軽に来社していただくことで、情報の交換場所になることを目指している。

月	人 数
5月	20名
6月	14名 (6月22日現在)

※補足ではございますが、6月末までの来訪者数は21名、7月は7月11日現在19名の方々にお越し頂いております。

第2号議案

平成29年度 事業計画の件

報告事項 平成29年度南魚沼市からの受託事業計画

基本的な考え方

- 経営基盤の確立
- 一般社団法人、地域再生推進法人、市委託事業受託者としてのガバナンスの確立と継承可能な体制化、文書化
- ステークホルダーに応じた事業実施計画の立案と運営管理
- 持続可能な経営に向けた自主事業との関連づけ
- 評価可能な目標(KPI)の確立に向けた数値の探索とPDCA体制づくり

報告事項 平成29年度南魚沼市からの受託事業計画

ステークホルダー毎に最適な事業手段を選択し実施する

●潜在的な移住希望者、移住希望者	●スマホサイトやSNSでの情報発信、お試し居住支援、市内関係機関との連携 見都園セミナー(田舎ライフビジネス塾、コミュニティリーダー会議、法人等、南魚沼倶楽部、移住者アンケート等
●市内の市民組織、経済団体、学校、医療機関、NPO、起業希望者、若い世代	●相談場所、立寄り場所としての事務所 積極的な訪問講演や市内セミナー主催(現地交流、人財・起業等)、イベントの共催、スマホ市内イベントまとめサイト、SNS
●支援機関、県、国、等	●支援メニューの再周知と協力、活用促進、 イベントの共催
●議会、市当局各部署等行政関係者、市民	●地域再生推進法人報告会(仮称)、市報、紙ベースの定期レポート、スマホサイト
●ITパークテナント企業	●定期的な懇談会実施、地域住民組織や市外パートナー等との連携推進、SNS、スマホ活用
●ITパーク等の潜在的パートナーや顧客(市内外企業や市内団体、市民組織)	●スマホやSNS、セミナー(市内外)でのITパークテナント紹介とマッチング支援、入居誘致
●CCRC事業者等市内外の企業パートナー	●CCRC事業事務局としての連携、スマホ、SNS
●市内企業経営者と次世代経営者候補	●「次世代リーダー塾」(参考:自主事業)

2017年度スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CCRC	セミナー		セミナー		セミナー		セミナー		セミナー	セミナー	
移住定住				セミナー				セミナー			
ITパーク			懇談会		市内セミナー	首都セミナー		懇談会			
クラウド			再委託先との連携								
共通項目		WEB(スマホ、PC) SNSでの情報発信、情報収集。お出かけ講演、継続的な広報活動									
		相談スポット、気軽な立寄り場所としてのオフィス運営									
			定期レポート(報告と提言論文集)				定期レポート(報告と提言論文集)				
			推進法人報告会(仮称)				推進法人報告会(仮称)				
自主事業					次世代塾	次世代塾	次世代塾	次世代塾	次世代塾	次世代塾	次世代塾
経営体制		理事会	総会		理事会		理事会	総会		理事会	
	体制構築										
		中期計画策定									

報告書作成

※1. 総会・理事会は協議事項 ※2. 上記日程・回数は変更することがあります。

自主事業次世代リーダー塾

- 市内中小企業次期経営者候補20名程度を市内中小企業から応募派遣してもらい、次の経営者として必要な知識と経験を専門的講師を招いた塾形式で7回開催する
- MMDOが企画し主催する
- 次世代経営者が育っていない、育て方が分からない、事業継承がうまくいかない、若い世代と現経営者のコミュニケーションが取れない、若い世代が未来にビジョンを持ってなく不安を感じているので南魚沼から出ていく、という現状とニーズに応え、南魚沼市中小企業の世代交代を促進し若い世代の定住と新規事業や業態転換による力強いビジネスが南魚沼に生まれることを目指す。地域を活性化し移住者を増やす土壌とする
- 講座は、リーダー論、財務、マーケティング、プレゼンテーション、コミュニケーション、事業開発など。座学とワークショップ形式で、異業種の若者男女が毎月1回夜3時間程度を共に過ごし講師とともに少人数で刺激し合う。
- カリキュラムで得られる知識と、異業種の同年代の若者同士が同じ悩みを持って数カ月同じ場所で過ごすことの連帯感の形成がアウトプット
- 講師は市外から一流の実務経験者を呼ぶ。新潟市、川口市等から同様の塾経験者をファシリテーターとして参加させる(新潟市、川口市で同様の塾実績あり)
- 参加企業トップ、塾生の意識を高めるために有償とする。MMDOの持続的な経営に向けた自主財源確保のモデルとする
- 六日町の空き店舗をMMDOが家主から借り上げ貸しセミナー会場として安全適切に運営する。空き店舗活用モデルの実証実験ともする
- 試験的に7月8月にMMDO職員の研修としてスタートする

報告事項 自主事業

次世代リーダー塾

- 目的：次世代経営者に求められる「実践的な経営力」を育成する
- 期間：2017年9～18/3月（※18:00～20:30）
- 回数：7回
- 対象者：南魚沼市、市外の会社等から派遣された次世代経営者候補
- 有償とする
- プログラム：合計7回に繋がりをもたせ、
最後は自社のビジネスプランを作成できるように構成する。

- プログラム内でのキーワード：

- ①情熱／ビジョン
- ②リベラルアーツ／深い洞察
- ③人間性／人脈
- ④現場で生きる知恵

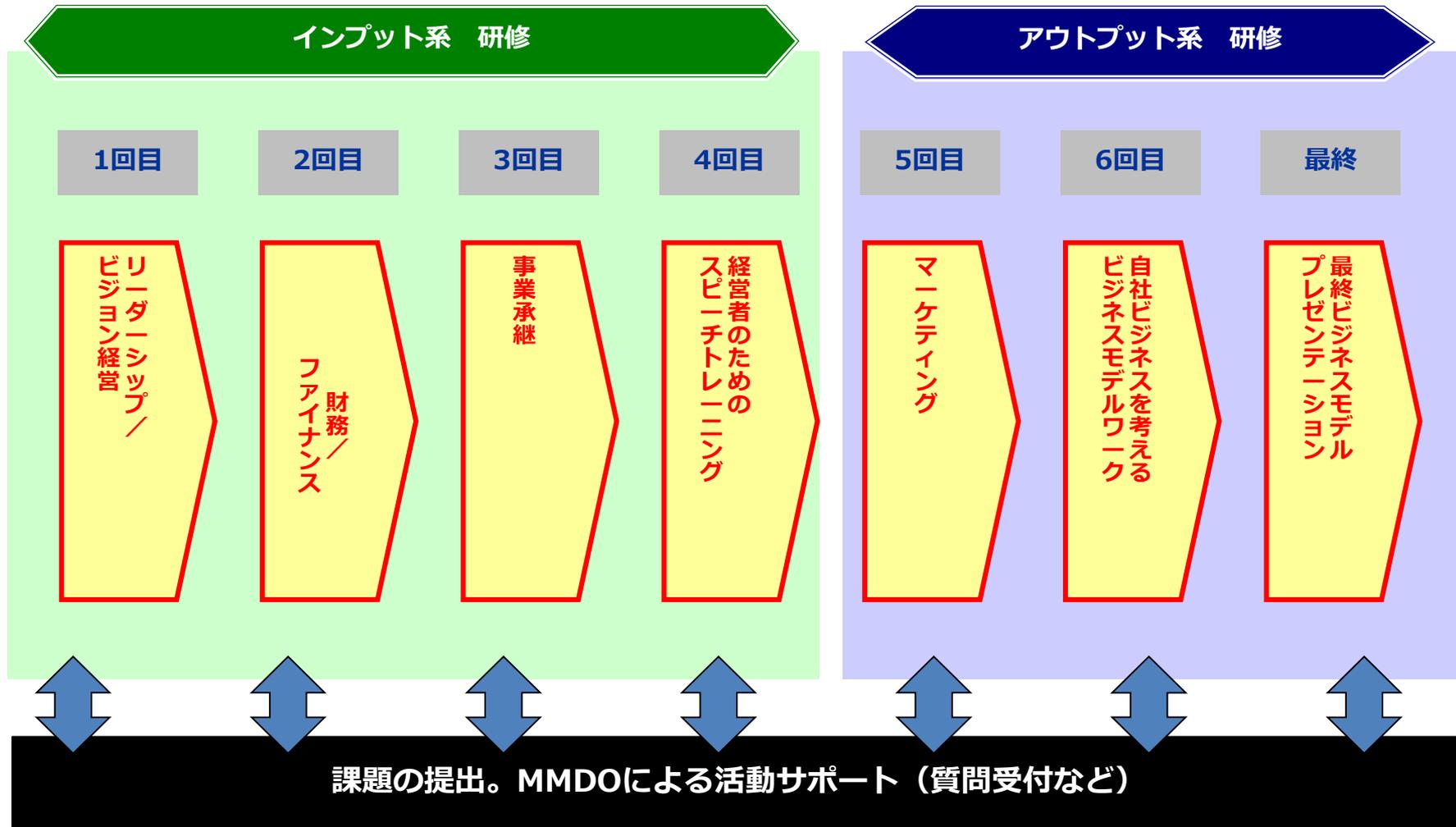


- アウトプットに

- ①経営者に必要な知識の入り口を包括的短期間で知る
 - ②異業種の同年代、同じ立場の若者同士の連携連帯が生まれる
- 成功事例 新潟県（産業振興課、埼玉県川口商工会議所）有り 体験者の参加も

次世代リーダー塾 イメージ

前半の4回は「経営者にとって必要なスキル」をインプットし、
後半の3回は「自社ビジネスの今後を考える」アウトプットを意識した内容。講師は実務経験者



報告事項 自主事業

次世代リーダー塾 実施場所

- 場所：六日町商店街の空き店舗、空きオフィス
MMDOが家主から借りて運営する
- 家主：賃料収入
- 商店街：賑わい、売上
- 若い世代：公的な集会場とは異なった小スペース
会議イベント向けサービスの充実、お金を取る
イベントでも可→今後広がる
- MMDO：自主事業モデル
- 地方都市のシャッター通り商店街の若い世代による活用事例としてメディアに露出させ、真似をしたり刺激を受けて新しいことをやる人を増やそうしむける
- 浦佐地区、塩沢地区、中山間地地区については別の企画を今後考えてゆく



写真はイメージ



■ (3) スタッフ紹介

平成29年度 (一社)南魚沼市まちづくり推進機構 スタッフ

- ゼネラルマネージャー 河合 雅樹
- プロジェクトマネージャー 須藤 歩
- プロジェクトマネージャー 大久保 有紗
- プロジェクトマネージャー 高橋 和子

※広報 丸山智子さんも紹介

■ 協議事項

(4) H29年度の総会理事会の日程について

素案

総会	7月	12月	(2回)
理事会	6月	8～9月	11月 2月

根拠

総会は一般社団法人に関する法律で年1回以上の開催することが定められている。会員（法でいう社員）の意見を経営により反映させるために年2回とする。

理事会は上記法で三か月以内ごとの開催が定められている。

(4回)

(一社) 南魚沼市まちづくり推進機構 有識者による検討会
 別名南魚沼ニュービジネス研究会 (仮称)
 (D: ビジネス構想型)

1. MMDO に市内に住む 30 代、40 代を中心とした世代によるボランティア的な研究会を組成する。(社員以外の MMDO 支持層の獲得)
2. 毎月 1～2 回、MMDO 事務所に集まり、移住定住・働く場創出の目的に沿ったニュービジネスを構想する研究会を開催する。
3. 初年度は体制づくりとアイデア出し、2 年目には南魚沼市でのニュービジネスのモデルとなる具体的なビジネス事例を 2、3 件スタートさせることを目標とする。
4. 国の競争的資金や県等支援機関等外部資金の導入を追求する。
5. 社員以外が MMDO の枠組みを活用することで MMDO の価値を広範な人々に理解してもらい、市内企業や市民が MMDO を使って自らの夢を実現できる場として MMDO を育ててゆく。

移住定住促進研究会		働く場創出研究会	
調整役	門山好和	調整役	関 聡
有識者	A	有識者	A
	B		B
	C		C
	D		D
	E		E
	F		F
顧問	清水明	顧問	
U&I ときめき課		商工観光課	
目的			
1. 若者移住定住促進政策策定		1. 起業促進政策策定	
2. CCRC に対する移住定住事業の策定		2. 働く場の創出 (企業誘致)	
3. 学校・医療機関等と連携した市民移住者向け支援施策策定			

私たちはこんな法人です

MMDO (ムムドゥ) のご紹介
(一社) 南魚沼市まちづくり推進機構



※5月24日KOセミナーで説明した資料です。

はじめまして

- 一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構と申します
- (一社) 南魚沼市まちづくり推進機構と書きます
- 一般社団法人とは、平成18年の公益法人改革で従来の社団法人に代わって出来た社団法人制度です
- 「民間か役所か？」とよく聞かれますが民間です
- 行政からの監督指導がありません
- 公益目的に制限されず収益事業を行うことが出来ます
- ただし、社員（株主のようなもの）に利益を分配することはできません

私たちは

- 平成29年4月に発足しました
- 会員（法律上の社員）は
 - （株）アクティ
 - （有）門山電機店
 - （株）関電気
 - （株）自遊人
 - 八海醸造（株）
 - （株）北越銀行
 - 南魚沼市
 - （株）雪国まいたけ

五十音順

理事・監事は

- 理事

- 河合 雅樹
- 門山 好和
- 関 聡

- 監事

- 星野 覚雄

スタッフは

- 河合 雅樹 ゼネラルマネージャー（代表理事と兼務）
- 須藤 歩 プロジェクトマネージャー
- 大久保 有紗 プロジェクトマネージャー
- 高橋 和子 プロジェクトマネージャー

行う事業は 定款で定めています

- 移住・定住を進めるための事業
- 移住・定住推進に関する情報収集・発信
- 市民・移住者の生活支援のための組織形成や関連事業
- 移住者の就業、起業・創業を進めるための活動・支援
- 地域での雇用を創出するための政策の提言・支援
- 市や県、国、支援機関、経済団体、金融機関と連携した地域産業活性化事業
- 地域づくり協議会やNPO等地域と協働した市民・移住者向け支援事業
- CCRC構想に関する情報発信及び移住者確保に関する事業
- これらと関連する事業

MMDOは 地域再生推進法人の指定を受けています

- 地域再生法に基づく法人です
- 市（国）から委託事業を受けて活動します

地域再生推進法人って？

1. 地域を再生しようとする企業や個人の相談を受けます
2. 地域を再生することに役立つ事業を行います
3. 地域を再生する為に土地を取得したり管理したり譲渡することができます
4. 地域再生のことを調査研究し提言します

29年度の方針、南魚沼市からの委託事業

1. 移住・定住

2. 起業・雇用・創業 ITパーク

3. 地域・大学・医療機関連携、CCRC

を推進するセミナー・イベントの開催や広報活動等

中期的な方針 4～5年後迄には

- 委託事業以外の自主事業を段々増やすこと
- 委託事業に頼らない自主事業で自立可能な経営にすること

を目指します

- 今年度から自主事業を始めます

私たちが取り組む「まちづくり」とは

「まちづくり」には色々な方法があります

私たちは

南魚沼市に魅力的な仕事を創り出すことをまちづくりの方法とします

魅力的な仕事が無いと若者がまちから出ていく、人が来ない

今の20代、30代、40代がこれから担う、創る仕事とは？

あなたの子供や孫の時代の仕事は？

人が定住し、移住してくる南魚沼市の一助となれば

ムムドゥ という名前を覚えて下さい

(一社) 南魚沼市まちづくり推進機構

Minami Uonuma City Marketing & Development Organization =
MMDO

長い！ 覚えづらい！ わかりにくい！

MMDO=ムムドゥ

ム？ と気づくことが有ったら

ム！ と皆で考え

すぐに**ドゥ！** = 行動する

MMDOは皆さまにわかりやすい情報をお伝えします

- セミナーやイベント、SNS、ネットで発信します
- 地域や団体、NPOのイベントどこにでも出かけます
(お金は頂きません)
- どうか呼んでください！

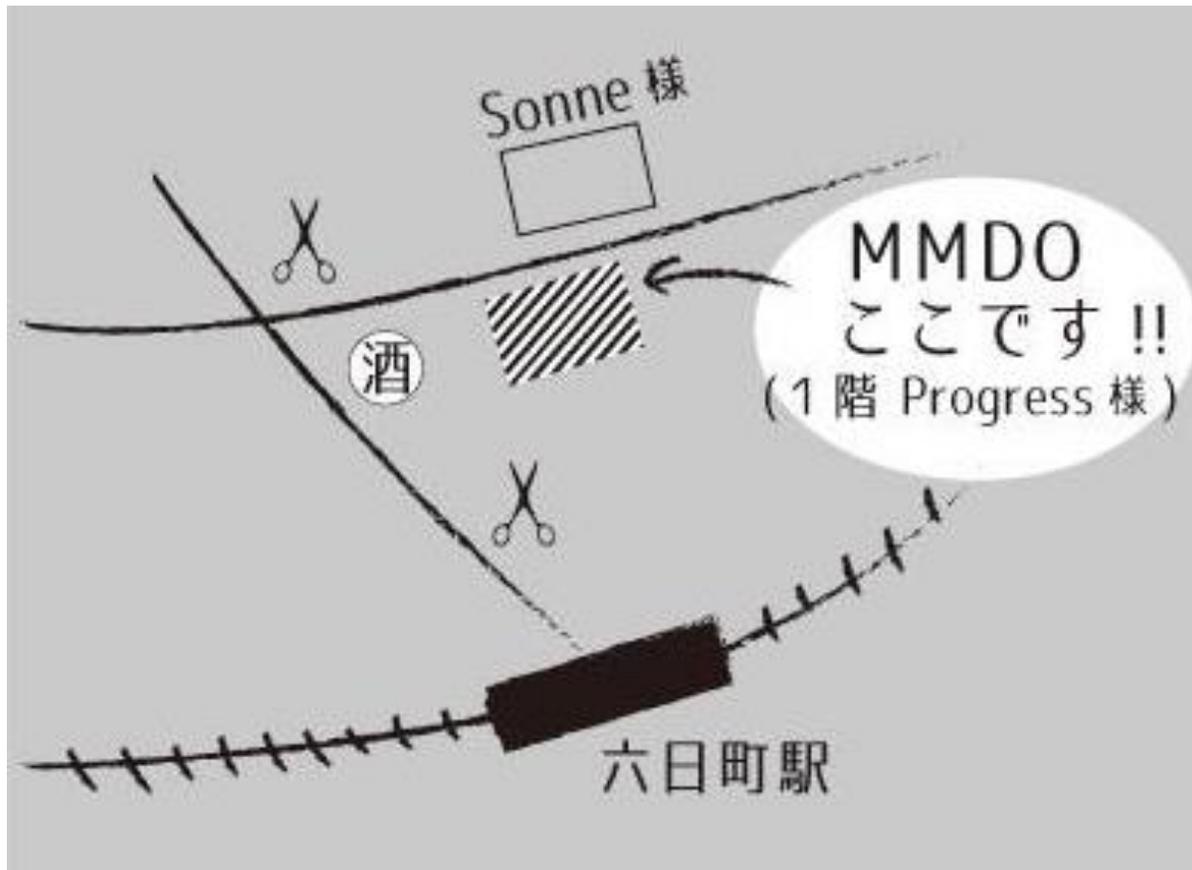
MMDOは
誰かと誰かとつなぐのが得意です

と、言われるようになりたいなあ

- ・市内の団体、機関、法人
- ・市外県外の団体、機関、法人
- ・それぞれの力を補完しあい、最大化を目指します

どうぞ気軽にお越しく下さい

- 南魚沼市六日町2914-1 桜井ビル 2階



電話：025-778-0511

飲み物とスタッフの
笑顔でお待ちしております